

令和 3 年度

第 3 回在宅医療・介護連携推進協議会

会 議 録(要旨記載)

日時:令和 4 年 2 月 24 日(木)午後 1 時 30 分～

会場:オンライン (事務局:防災センター)

1 出席者

<委員>

伊 藤 健 (浜名医師会)
伊 藤 慎 一 (浜名歯科医師会)
塩 野 州 平 (浜松市薬剤師会)
内 山 大 輔 (介護老人保健施設まんさくの里)
鈴 木 織 江 (浜名病院地域医療連携室)
夏 目 志津子 (市立湖西病院在宅支援室)
前 田 幸 代 (訪問看護ステーションはまな)
内 藤 加代子 (地域包括支援センター湖西白萩)
吉 田 朝 子 (湖西市社会福祉協議会 介護センターこさい)
藤 田 周 子 (有識者 湖西市医会 医師)
山 下 いづみ (有識者 浜松市医師会)

<事務局>

牛 田 知 宏 (浜名医師会)
石 田 裕 之 (健康福祉部高齢者福祉課長)
琴 岡 文 乃 (健康福祉部高齢者福祉課地域包括ケア推進係長)
尾 崎 里佳子 (健康福祉部高齢者福祉課保健師)
松 井 美智子 (在宅医療・介護連携支援センター相談員)
村 越 正 代 (健康福祉部健康増進課長)
小野田 健 児 (健康福祉部健康増進課課長代理)

2 会議次第

1 開会 挨拶

2 議事

- (1) 訪問診療自給率向上に対する取り組み方法について ……資料 1
- (2) 在宅医療データベース調査結果及びお助けブックについて
- (3) 令和4年度多職種連携研修会について ……資料 2
- (4) その他
 - 令和3年度市民向け講演会について
 - エンディングノートについて
 - 認知症ケアパスにおける「湖西であんきに暮らすまい」活用について

3 次回案内

次回 6月 30 日(木) 予定

3 会議内容 午後 1 時30分開会

開会

1 あいさつ

高齢者福祉課長）本日は、ご多用のところ、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただいまから、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を開会させていただきます。それでは、議事の進行については伊藤先生よろしくお願いします。

伊藤会長）私は本日、司会を務めさせていただきます浜名医師会会長の伊藤でございます。宜しくをお願いいたします。

最初に資料の確認でございますが、事前に資料を配布させていただきましたのでそちらをご覧ください。

2 議題

(1) 訪問自給率向上に対する取り組み方法について

伊藤会長）それでは議事にはいらさせていただきます。

議事（１）の「訪問診療自給率向上に対する取り組み方法について」事務局から説明をお願いします。

事務局説明 資料 1)

1 の訪問診療自給率とは何なのかという問い合わせが多かったので、ここで共通認識の為、説明します。2025 年に必要となるだろう推定件数を分母として、市内外の先生を問わず湖西市の方が訪問診療を受けている件数を分子とした割合を表したものです。

2 の訪問診療自給率向上のための事務局検討案については、今まで皆さんからいただいた意見をもう一度確認したが、どこから手を付けて良いかと迷うところがあるので、ポイントをしばってみてはどうかと考えた。困っている事例が多いこと、癌での死亡や患者数が多く、湖西市の介護の要因で2 番目に多い等から、癌患者に対する連携についてまずは検討してみたらどうかと思う。皆さんの意見を伺いたい。

伊藤会長）事務局の説明は終わりました。こちらから指名させていただきます。受給率を上げるための議題（症例）として癌患者を取り上げ、研修会とか勉強会をして連携を図ったらどうかということについて意見をいただければと思う。

藤田委員）自給率をあげるということであるならば、手のだしやすい高齢の方の在宅での看取りから取り掛かった方が良いと考える。癌末期の患者の対応の勉強会等を積極的に行うのは良いことだと思う。

塩野委員）癌患者に対する介入であるなら、研修や実際に動いている症例

のディスカッションや振り返り等を含めて1例ずつ丁寧にやっていくことが必要だと考える。自給率を上げることが目的なら、実際癌患者の看取りの割合を調べ、癌患者が多いか高齢の方が多くかで考えていけば良いと思う。

前田委員) 癌患者からだ、対応するのに機材がそろっていないと在宅看取りは難しい。非癌の患者からやったほうが良いと思う。

山下委員) 癌の看取りに特化して話題が進んでいると理解してよいか。浜松市でも3月にエンドオブライフケアという点から、今回癌患者の在宅での看取りについて考えている。医療だけが支えるのではないので多職種が支えるという観点から、ケースを中心にディスカッションできればと思っている。麻薬の取り扱いは切り離せないで勉強させてもらうという意味で薬剤師からの講義も予定してる。研修を終えてみると多職種の癌患者のエンドステージに対する考え方や対応についても見えてくると思う。研修に参加することで、医療者だけで支えていくのは無理で、それ以外のコメディカルも含めたチームで支えていかなければいけないという心構えや考え方、連携が必要だというメッセージがだせると良いと思う。

夏目委員) 緩和医療の研修会について太田医師の方に依頼があれば大丈夫かと思う。訪問診療も2名の方に対応したが入院しそのまま亡くなられたので現在対象者はいない。今後訪問診療も増やしていければ良い。それには訪問看護との連携が必要と思っている。訪問診療をがんばっていききたいと太田医師も言っている。緩和ケア外来受診は疼痛コントロールが必要となってからではなくなるべく早い受診をしていただきたい。受けて直ぐ亡くなることがあり、早くから関係性の構築ができれば、レスパイトとしての対応もできる。

伊藤会長) 太田医師に研修依頼ができると良い。

来年度の多職種連携研修の7月に行政説明でがん患者の部位別人数、在宅緩和医療の実際(症例)緩和医療とはについて太田医師に講演していただきたい。9月は緩和ケアの実技やビデオ研修、麻薬処方麻薬点滴をするにあたっての注意等について塩野薬剤師より講演してほしいと考えている。

歯科医師会で癌患者の訪問診療についてはどうですか。

伊藤慎一委員) 歯科では癌患者を扱う症例はあまりないので、無理かと思う。

鈴木委員) 訪問診療自給率とは、在宅で亡くなることまでのことを言うの

か在宅で過ごすことに対してなのか。

事務局）分子は訪問診療を受けた件数になるので、どこで最期をむかえるかは、関係ない。訪問診療を受けられる体制にあるかが大切。

前田委員）湖西市的には癌の患者さんに対して連携を深めていきたいのか。冒頭、医療器材や麻薬の関係から、非癌の方のについての取組について連携していく話が出ていたと思う。

事務局）どこから取り組んでいくのか考えていく中で、かかりつけ医のところで最後まで診ていただけるスタイルを作っていけるのが一番良いと思う。漠然としているよりの的がしぼられていた方が進めていきやすいと思い、提示した。

前田委員）コメディカルの実際関わった事例の中で在宅看取りに至った良かった事例をあげた方が、多職種の連携もしていきやすいのではないかと。また数的にも実際わからないが、多いように思う。

山下委員）非癌の方の看取りも重要だが、研修の組み立てが難しい。浜松市医師会では癌患者に絞ってみた。ホームページにあげているので、参考にしてもらえればと思う。1 事例を限られた職種向けに行うことは容易だが。動画学習であれば動画サイト（オプティブ）も使用可能。

伊藤会長）テーマを絞ることが大切。テーマに沿って連携が密にできるように、湖西市ルールを整えていければ良い。ご意見ご質問のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員）実際癌患者はハードルが高く、往診訪問でみている限りでは高齢の方の看取りの方が手も届きやすいし数も多いと思う。チーム医療として多職種が連携していくことを考えるという視点では非癌患者を対象とした方が实际的だと思う。まずは非癌患者を、慣れたところで癌患者にとステップアップしたらと思う。また癌患者は湖西病院（太田医師）との連携が大切（古見薬局・訪問看護等ある資源の連携）医療資源としてはそろっているところを、いかに有機的に活用していけるかが大切だと思う。

内藤委員）地域包括または 1 ケアマネジャーとして考えると、第 1 ステップとしては非癌患者。チーム医療としては、いろいろな人が関われる方が良いと思う。癌患者に関してはこれまでケアマネが実際に扱った実際のケースから入った方が良いと思う。癌患者はタイムリーに動くので、患者・

| | |
|--------------------------------|--|
| | <p>家族の気持ちの部分がついてこない。私たちスタッフが先ばしっても良くない。</p> <p>伊藤会長) 癌・非癌 2 本立てはいかがか。看取りという面から多職種が連携していくという意味から非癌、緩和医療を勉強し連携を図っていく意味から癌。</p> <p>藤田委員) 7, 9 月の研修についてはアンケートをとってみてはどうか?</p> <p>伊藤会長) 時間がないために 7 月は太田先生に病診連携のための研修会 9 月については 6 月の協議会で決める。</p> <p>山下委員) 看取りや癌の対応については総論的なものになると思う。その後の各論的なものについては、事例検討などは研修会以外の計画をする余力が湖西市にはあるのか。</p> <p>伊藤会長) A C P についてはどこかでと考えてはいる。ご意見ご質問ありますか。</p> <p>一同) 質疑応答なし。</p> |
| (2) 在宅医療データベース調査結果及びお助けブックについて | 伊藤会長) 新しく配布。 |
| (3) 令和 4 年度多職種研修会について | 7 月は緩和医療講演。9 月以降はアンケートをとった結果で決めていく。 |
| (4) その他 | <p>事務局) 3 月 27 日 (日) 10 時から中央図書館で、伊藤会長が講師となり、在宅医療の実際ということで講演予定。</p> <p>エンディングノートについては昨年 8 割配布、今年度分も普及啓発に協力を。認知症ケアパス更新、在宅医療介護連携の「湖西であんきに暮ら住まい」を活用。</p> |
| 3 次回案内 | <p>次回 6 月 30 日 (木) 予定</p> <p>宜しく申し上げます。</p> <p>高齢者福祉課長) それでは以上をもちまして、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を終了させていただきます。</p> |